

草抜きや育苗 里山管理に汗

栗山高1年生

【栗山】栗山高の1年生約40人が、町教委が小中学校のふるさと教育で使うハサンベツ地区の里山エリアの管理作業を手伝った。「総合的な探究の時間」に実施して4年目で、生徒の約7割を町内出身者が占めるだけに、手際良く作業した。12日に行われた作業は、ノハナショウブのポット苗づくり、池を覆うミントなどの草抜き、野菜収穫後の



ハウス内の片付けなどで、4班に分かれて昼食を挟んで進めた。

て池に入り、泥跳ねも気にせず草を抜き続けた宮本拳士朗さんは「力仕事だが、小学生時代から親しんできた場所なので、やりがいも達成感もある」と笑顔を見せていた。

(土屋孝浩)

池に繁茂したミントなどの除去作業に当たる栗山高1年生